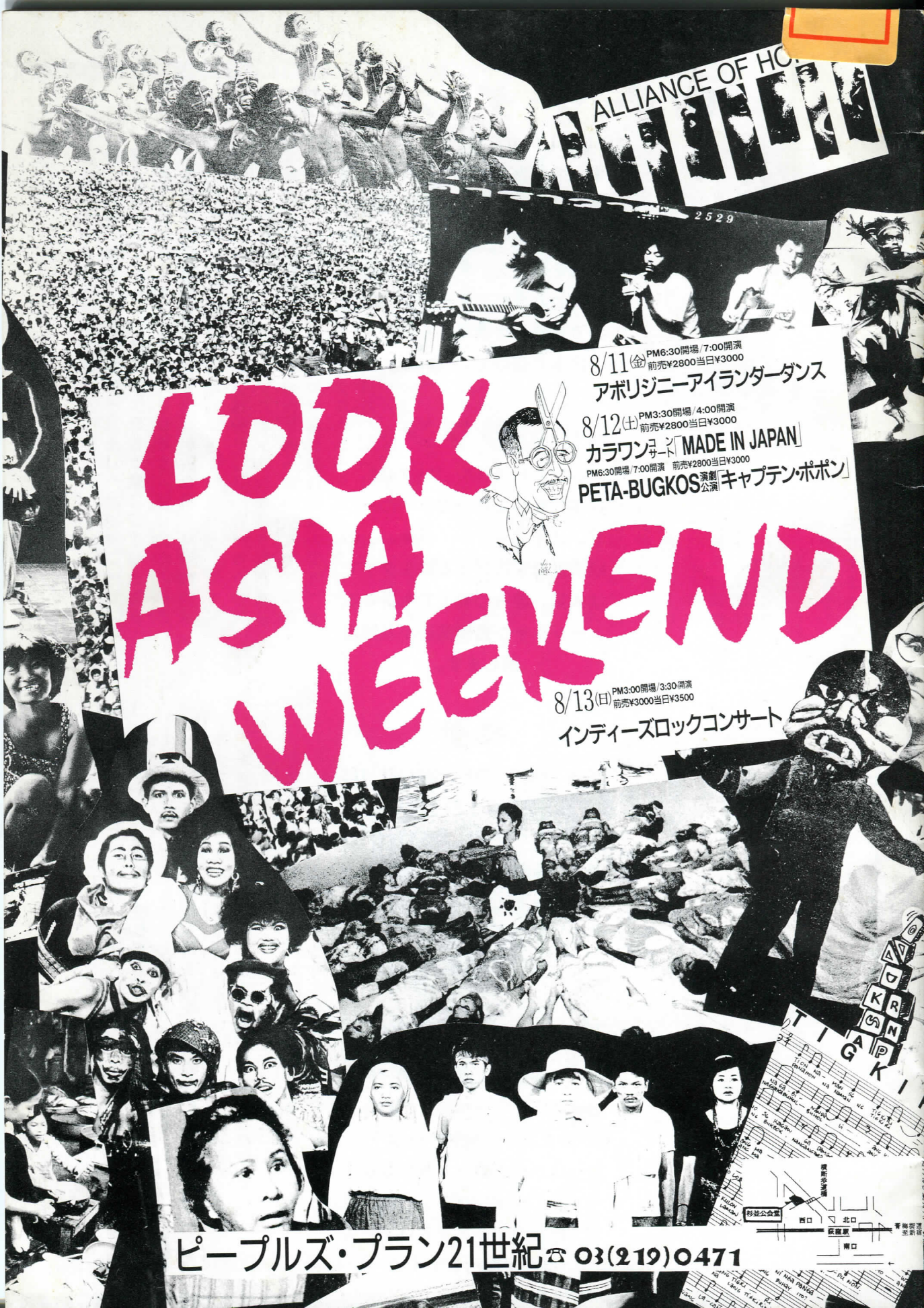

ALLIANCE OF HO
2529
LOOK
ASIA
WEEKEND
8/11(金) PM6:30開場/7:00開演
前売¥2800当日¥3000
アボリジニーアイランダーダンス
8/12(土) PM3:30開場/4:00開演
前売¥2800当日¥3000
カラワンコンサート「MADE IN JAPAN」
PM6:30開場/7:00開演 前売¥2800当日¥3000
PETA-BUGKOS演劇公演「キャプテン・ポポン」
8/13(日) PM3:00開場/3:30開演
前売¥3000当日¥3500
インディーズロックコンサート
ADRNSAPKI
TIGKI
杉並公会堂
西口
北口
荻窪駅
南口
ピープルズ・プラン21世紀☎03(219)0471

バンガーラ・ダンス・シアター

BANGARRA DANCE THEATER AUSTRALIA

オーストラリアの先住民であるアボリジニとトレス海峡諸島民のダンス・カンパニー。伝統的舞踏をモダン・ダンスに融合させたというパフォーマンスが世界でも高く評価されています。日本で初めての公演です。

カラワン

CARAVAN FROM THAILAND

日本でもおなじみのタイのバンド。メイド・イン・ジャパンの経済進出を批判する歌もタイでは人気。彼らの親友でもあるミュージシャン豊田勇造が友情出演します。

ペタ

PETA FROM THE PHILIPPINES

昨年も、ＰＰ２１の一環として、演劇ワークショップを行い、日本全国を回りました。今年は、ストリート・チルドレンをテーマにした「ポポンの冒険」を演じてくれます。

チャンバワンバ

CHUMBA-WAMBA FROM BRITAIN

第三世界をテーマにした歌も多く、あくまで自主制作を誇りに、ヨーロッパで高い人気のロックバンド、チャンバワンバを迎えて、日本のティア・ドロップスなどが競演します。

PP21文化の工房

桐谷夏子

初めてアジアに出かけたのは一九八〇年フィリピンのマニラでした。それは、約1年前から交流をはじめていたPETA（フィリピン教育演劇協会）の招きで、私の所属する劇団黒テントの2本の演劇上演をおこなったあと演劇ワークショップの進行役を育てるための二ヵ月のプログラムに参加するためでした。当時私たちはフィリピンの、あるいは他のアジア諸国の現代演劇について何も知らないに等しい状態でした。私はそこで、インドネシアのレンドラの劇団、そしてタイの、マレーシアの、インドの文化活動家達と出会うことができたのです。

ちょうどその頃、日本のミュージシャン達も、当時まだジャングルにいたカラワン楽団の伝説や発禁になったテープに触れ、アジアの「新しい歌」に出会っていたのでした。

私たちの交流はほそぼそと、しかし確実に根をおろしてきました。フィリピンやタイに出かけ、あるいはアジアから日本に招いて、ギブ&ギブ（一方的）ではない、お互いがもっとも必要とするものをわかちあいました。

一九八三年に日本でアジア民衆演劇会議（ATF）と民衆文化祭を計画して、4年間で知りあったアジアの演劇人と日本でワークショップスタイルの会議を持ちました。東京の旧潮見枝川教会をお借りして、約一ヵ月のプログラムでした。会議も終わりに近づいたとき、ジャングルから出て再び音楽活動をはじめたカラワンがわたしたちを訪ねてきました。やはり日本で「新しい歌」の活動をはじめていた高橋悠治らの招きで来日していた彼らは、縁側にギターを抱えて腰をおろし、私たちにあの「人と水牛」を歌ってくれました。

日本ではいま、演劇人同志のあるいはミュージシャン同志の交流をこえて、PETAのあるいはカラワンの声がきこえています。今回のこのPP21による文化イベントは私たちの10年間の集大成といえるものなのです。

PETAは自国で演劇人ばかりでないBUGKOS（民衆芸術と文学のための全国ネットワーク）を組織し、その活動の巾を広げ、カラワンは今やフォーク・ロックのパイオニアとして新しいメンバーを加えて、世代をこえた多くのファンを持っています。

オーストラリア先住民バンガーラ・ダンスシアターとは今回が最初の出会いです。日本の先住民アイヌの人々との交流計画の中から出会うことができました。太平洋から私たちの知らない様々な文化、そして彼らの歴史がとどけられることでしょう。

またイギリスの炭坑の町リーズからは強烈なメッセージを持つロック・グループ、チャンバワンバがまいります。彼らとの関係が今後も共通の「志」をとおして開かれていくことと思います。

私たちのこの10年間の交流史をふまえて、これからの10年…21世紀にむけて、新しい世代の交流計画が生まれることを願ってやみません。

メッセージ・ソングが民衆の真の叫びであるタイから、演劇が社会の中で小さなメディアとして成立するフィリピンから、

伝統とよばれる表現がそのまま民族の存在証明であるオーストラリア・アボリジニーから、

かつて日本の国家モデルといわれ、だが常に新しい歌を生みだしているイギリスから…

私たちは友達を招きます。

バンガーラ・ダンス・シアターは、アボリジニ・アイランダー職能開発機構（ＡＩＳＤＳ）の公演部門として、一九七六年から運営されています。オーストラリア全州のみならず太平洋、ナイジェリア、カナダ、アメリカと海外でも活発に公演を続けています。昨年はヨーロッパをツアーし、メルボルンのスポレト・フェスティバルでは大好評を博しました。

一九八九年、ＡＩＳＤＳから分離独立し、それまでの呼称ＡＩＤＴ（アボリジニ・アイランダー・ダンス・シアター）を改め、文化と民族の起源を反映させるようバンガーラ・ダンス・シアター・オーストラリアとしました。公演活動の他ワークショップ、ダンス教室等も行って、収益を本来の活動にあてています。

バンガーラとは、ニュー・サウス・ウェールズ州のウイラデジェリの人々の言葉で「火を起こす」という意味です。

バンガーラ・ダンス・シアターの公演は、アボリジニとアイランダーという二つの異なった伝統的舞踊を、現代のダンス・スタイルに見事に融合したプログラムといえます。

アボリジニによる伝統的な舞踏は、彼らの生活の起源と哲学である「ドリーミング」の神秘的な本質を表現するものです。踊り、音楽、身体の動き、デザインなど、すべてはみな長い歴史に由来するものです。アボリジニの人々の文化は、数えきれぬ程のグループに分けられますが、すべての踊りは、大地、空、海、生物などの自然に密接に関わっているという共通点があるのです。

一方、アイランダー、すなわちトレス海峡諸島の人々による伝統的舞踏は、誕生、結婚、祭り、海を旅する人の帰還、愛する人の旅立ちなど、生活に関わる祝

い事を意味するものです。音楽も、アボリジニのものとは異なり、歌と太鼓、リズム楽器を用います。

どちらの踊り手たちも、題材を五万年以上の文化的歴史に求め、これらの要素を現代舞踏のエッセンスと統合しています。

したがって、バンガーラの演じる舞踏は、純粋な伝統的踊りから眩惑的な現代の振付にいたるすべてを演じるものといえます。

そして、バンガーラには、常にアボリジニとトレス海峡諸島の伝統的な踊りを指導する伝統社会のメンバーがいます。なぜならバンガーラのダンスは、こうした踊りを継承する伝統社会の人々の願いを実現するために上演されているからです。

バンガーラ・ダンス・シアターは、その主な目的を、

①五万年以上をさかのぼるオーストラリアの文化の原点が存続可能であり、アイデンティティを保っていることを理解してもらうよう啓発すること

②過去二〇〇年のアボリジニや島民たちの歴史を広く上演することで、現代オーストラリアにおいてアボリジニや島民たちの経験についての理解を促すこと

③現代文化とともに存在するオーストラリアの伝統文化の豊かさをすべての人に知ってもらうこと

④彼ら自身のコミュニティでも上演しサポートとなること

としています。

バンガーラ、およびその前身であるAIDTの主参加イベントは次のとおり。

７８年　アフリカ黒人芸術フェスティバル（ナイジェリア）
ダンス・フェスティバル（タヒチ）
パプア・ニューギニア独立記念祭
先住民文化記念祭（トロント）

８５年　メンフィス五月祭（アメリカ）

８６年　マオリ女王戴冠記念祭（ニュージーランド）
サンフランシスコ太平洋文化交流（アメリカ）

８８年　二〇〇年祭記念コンサート（シドニー）
国際ダンスフェスティバル（西ドイツ）

バンガーラ・ダンス・シアター・オーストラリア

シーン一
「先祖伝来の声」

シーン二
デジャリドー・ソロ
　デジャリドーは竹の管楽器

シーン三
「イルカラの踊り」
ドリーミングとは、すべての生命と生命を支配する法から生まれたアボリジニの哲学に与えられた名まえです。人類が誕生する以前、ドリーミングの魂が世界を創りました。今日でもアボリジニの人々は彼らの生活に根ざした踊りを創作しています。イルカラとは、東アーネムランドの居住区のことです。ここの人々を自らを主にデュアとイリッジャに分けています。ダンスの多くはデュアのものです。

シーン四
イルカラとトレス海峡の音楽

シーン5
「ノー・モア・ブーメラン」
ダンス　　ラリー・グルウィニ
　　リチャード・タロンガ
　　ジャスミン・ガラッシュ
　　パーシー・ジャコニア
　　シルビア・ブランコ
ユーモラス、そして風刺に満ちたコメントで現代オーストラリアにおける先住民の状況を表現します。

シーン六
「それが起きたのは・・・」
兵士　　ジャンセン・ウォーサム
鎖につながれた男　パーシー・ジャコニア
　　ラリー・グルウィニ
囚人　　リチャード・タロンガ
女　　ジャスミン・ガラッシュ
母　　モニカ・スティーブンス

　実話に基づいていた悲劇。サッカーの試合後、一人の男が治安を脅かしたとして投獄されます。翌朝、彼が独房で首をつって死んでいたのが発見されました。

シーン七
「私たちは何者か?」

シーン八
「あの女」

シーン九
「夢みる蝶々」
さなぎ　シルビア・ブランコ
変身　モニカ・スティーブンス
さなぎから成虫になる蝶々は、自由と自立を確立するために、闘う女性を表現しています。

シーン十
「楽園の島」

ノー・モア・ブーメラン
作詞　キャス・ウォーカー

ブーメランなんていらない
槍も、もういらない
すべては文明のおかげ
きらめくバーとビールがあるさ

陽気でにぎやかな闘いの踊り
コロボリーは、もういらない
映画もあるし、
金をはらって観ればいい

わかちあいなんてもういらない
狩人が何を持ち帰ろうとも
金のために働くし、
それでモノを買えばいい

ボスを探して、日銭を稼ごう
さあでかけよう
バスに乗って仕事へいこう

昔は裸で
恥ずかしくもなかった
いまは服を着て
何者であるかさえ隠している

昔の住まいはもういらない
いまは立派な平屋住まいだ
高い買物なら
二〇年かそこらのローンで払う

石斧は捨てさって
鉄を手にしよう
奴隷のように働いて
白人を食わせてやればいい

たいまつはやめてくれ
白人の物笑いの種になっちまう
すべて電気になって、
こんなしあわせはないんだから

白人がやってきて、
神話の動物バンニップがいなくなった
かわりに白人が
赤毛の犬を連れてきた

現代の抽象画
どこからやってきたんだろう
おやおや、われわれの洞窟には
もっといい絵がある

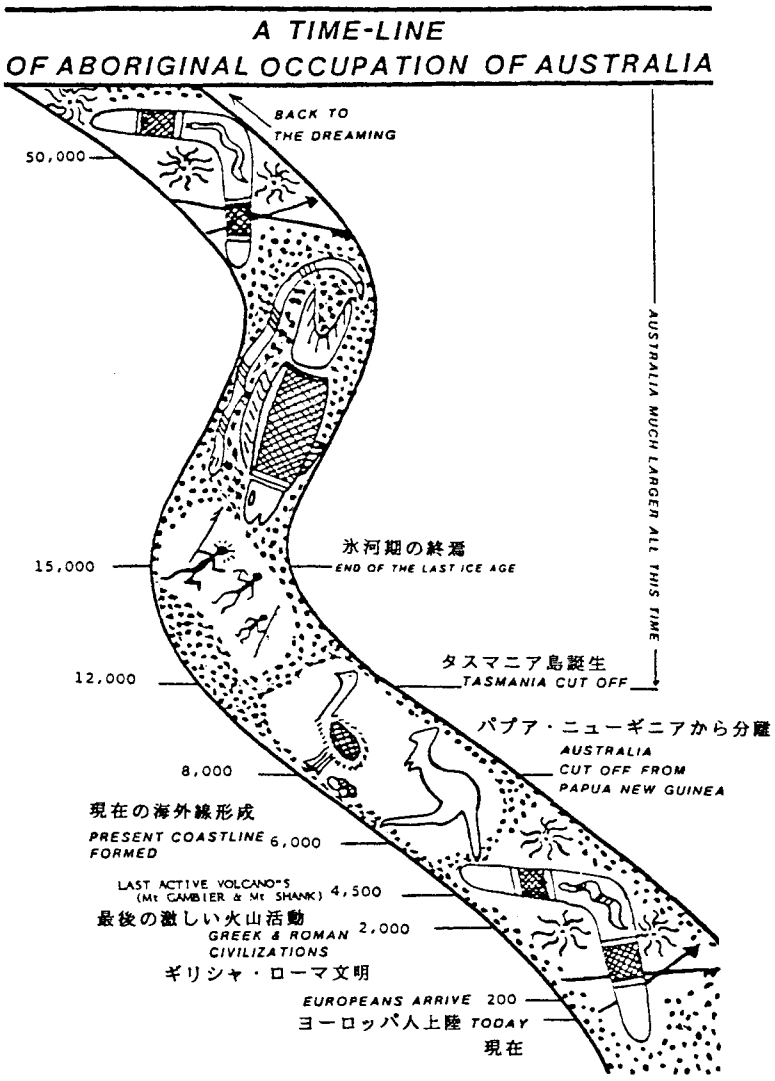
黒人はワラビーを捕まえ、
白人はお金をハントする
白人は祈祷師を打ち倒し、
犬の首輪をつけている

もうメッセージ棒は持ち歩かない
若い女と男たち
テレビを手に入れたが、
ほとんど広告だ

ウメラやワディといった
武器を捨てよう
原爆が手に入ったんだもの
すべての人を殺すことさえできる

The word bangarra is from the Wiradjeri people, and means to make

fire!



来日メンバー

シルビア・ブランコ
SYLVIA BLANCO（ダンサー）
クイーンズランド州、モスマン生まれ。

リチャード・タロンガ
RICHARD TALONGA（ダンサー）
北クイーンズランド州、マッケイ生まれ。

モニカ・スティーブンス
MONICA STEVENS（ダンサー）
北クイーンズランド州生まれ。

ジャスミン・ガラッシュ
JASMINE GULASH（ダンサー）
ニュー・サウス・ウェールズ州の北岸、ムルニ・ウウンバ出身。

パーシー・ジャコニア
PERCY JACKONIA（ダンサー）
トレス海峡諸島の木曜島出身。

ラリー・ヤブマ・グルウィニ
LARRY YAPUMA GURRUWINI（ダンサー）
ノーザン・テリトリーのエルコ島出身。

ジャンセン・ウォーサム
JENSEN WARSUM（ダンサー）
トレス海峡諸島の木曜島出身。サバイ島人。

レイモンド・ソウヤー
RAYMOND SAWYER（芸術コーディネーター）
ニューヨーク生まれ。

ジム・マン
JIM MANN（舞台監督）
ビクトリア州の出身。

≪来日公演≫

8／6　芸術の森・札幌

9　二風谷

11　[LOOK ASIA WEEKEND] 東京

この公演は、日本アセアン学術交流基金、
カンタス航空の協力を得ています。

QANTAS
カンタス　オーストラリア航空

MADE IN JAPAN

一九七三年十月の学生革命後に、スラチャイ・ジャンティマトーン、ウィラサク・スントンシーがバンドを結成して唄いはじめました。翌年モンコン・ウトック、トングラーン・タナーを迎えてカラワンを結成。タイ全国の大学、農村をまわって演奏し、カラワン楽団はタイ民主化闘争と「生きるための芸術運動」の象徴的存在となりました。彼らは軍部や右翼に危険視されながらも、若者を中心に圧倒的な人気を集めましたが、タマサート大学で多くの学生が虐殺された一九七六年十月の反動クーデターが起こると「森」に逃れ、以後タイ東北部、ラオスなど山岳地帯でちりぢりに過ごしました。そして一九八二年バンコックで再結集を果たし、再び唄い始めます。

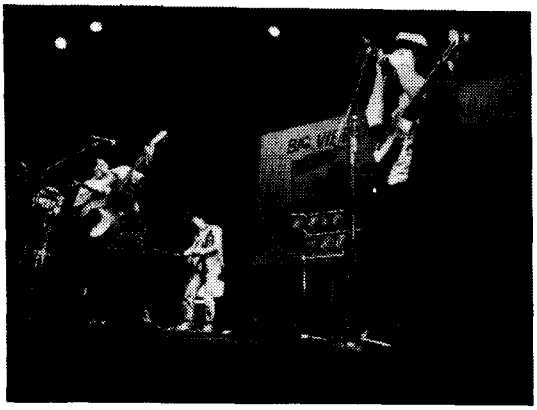
一九八三年には、水牛楽団の招きでカラワン四人が来日し、水牛楽団、小室等らとコンサートツアーを行いました。またスラチャイとモンコンは一九八四年に三里塚農民グループの招きで再来日し、「農村漁村キャラバン」で三カ月間日本をまわった経験もあります。カラワン楽団はこれまで本国で十数枚のアルバムを発表していますが、その全てがベストセラーとなっています。

彼らは現在、新しいメンバーを迎えて、農村や漁村そして都市スラムに出かけて演奏を続けると同時に、数万人規模のコンサートも成功させています。

今回はフルバンドで来日し、ケーナなどの民族楽器の他エレキやシンセを使ったサウンドを披露します。タイで積み上げた一六年間の活動の深みから、ニッポンへのさまざまなメッセージをたずさえて…「機械が大きなうねり声をあげているこの時代に、水牛を駆ってすすむ第三世界の貧民キャラバン」カラワンバンドがやってくる！

ぼくらは、この世界のどこからであっても、正義を求める声を愛する。現代は当たり前の人びとが声をあげる時代だ。

彼ら自身の言葉、彼ら自身の言語で、正義を愛する世界の兄弟たちが聴いて考えてくれるように。



《来日メンバー》

トングラーン・タナー　一九五〇・一〇・一九　ギター

モンコン・ウトック　一九五一・五・一〇　ピン／ボーカル／サンフォニア（バンブー・フルート）

スラチャイ・ジャンテイマトーン　一九四八・四・二九　ギター／ボーカル

ステップ・パンアムパン（エディ）　一九五四・八・一四　ベースギター

ウィチアン・ブンヤンポン（ウッ・ヤナワ）　一九五七・二・一二　ドラム

ポンテープ・クラドアンチャムナン　パーカッション

ラピントラ・プティチャト（スー）　ギター

森　秀樹　キーボード

カラワン

朝の森に光がさして
あらゆる植物をやさしく曖める
おいで兄弟たち　友だちみんな
僕たちの声で目をさましておくれ
カラワン　カラワン…
どん底の機械化の時代
貧民の牛車のキャラバンは
二本の足踏みしめ
この空のもとを進む
神がみの眠る時代に
焚火のあかりのもとで生まれ
浮かれさわいだ
プラスティック・バンド
メイド・イン・ジャパン
アンド・USA

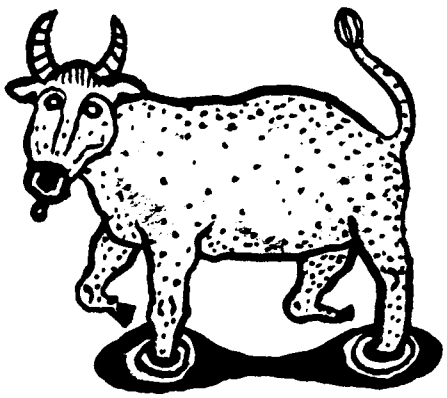
目をあざむく影のような
いつわりの大海にかこまれて
貧民の隊列はたちあがった
父よ母よ兄弟たちよ
すさんだ心で殺しあうのは
やめよう
カラワンの歌声をきいてごらん

つぎのあたった汚れたズボン
すわってギターをかなでるのは
傾きかけたオンボロ家
はきづめの靴一足のビンボーぐらし
故郷グラーの乾いた川では
老人ばかりが夢をみる
たとえ雨が燃え　火が消えても
牛車の歌は敗北をうたわない

長い旅路　行列つくり
男も女も肩ならべ
行こう同じ心に人たち
この車の輪はもう戻れない
（＊くりかえし）

グラー　グラー
「空に雨滴なく
地さらに乾いた砂あるのみ
涙のすじは血となって地をひたす」

朝の森に光がさして
あらゆる植物をやさしく曖める
おいで兄弟たち　友だちみんな
僕たちの声で目をさましておくれ
カラワン　カラワン…
カラワン　カラワン…



とうきょう

とうきょう　とうきょう
ひとりうつろに歩く
ちっぽけな人間の俺
そっとおまえをのぞきみる
とうきょう　とうきょう
ほんとに孤独だなあ
昼はうわごと
夜はうなされ

とうきょう　とうきょう
ふりかえっても
冷たいビルのような女ばかり
財布はボロボロ

とうきょう　とうきょう
キョロキョロこそこそ
シャム男児としたことが
どこへ行くのかわからない

とうきょう　とうきょう
だれもがだれにも無関係
だれが何しようが
だれも無関心

とうきょう　とうきょう
カサカサになって歩く
ネオンの光にあふれ
うじ虫のようにわきでる人
とうきょう　とうきょう
まあちょっと聞いてくれ
とうきょうの心を映した
この歌を

メイド　イン　ジャパン

遠くに　近く
あっちに　こっち
どっちを向いてもニッポンだらけさ
あの通り　この通り
どこもかしこもニッポンニッポン
テレビにラジオ　時計もニッポン
ああニッポン
ニッポンなしでは過ごせない

ああ　おれたちの暮らし
よくもこんなに何もないもんだ
田んぼは荒れて
家は草の切株同然
あるのは土埃と日照り
乾いた風ばかり
高い商品はニッポン製品
オーオー　ジャパン
スーパーマーケット
す・べ・て
メイド・イン・ジャパン
だけどおれの心にゃ値段がないのさ
空にゃまだ雲が浮かんでいる
一九八三年十月は
ひどいモンスーン
北からやってきた水で
タイ国中が水びたし

だけどおれの心にゃ値段がないのさ
空にゃまだ雲が浮かんでいる

サンティーパ（平和）

国々には歴史がある
田野　山　川
雨や風にうるおされて
人々はずっと築いてきた

戦争は侵略　破壊して
大地と空を　滅ぼしつくす
原子爆弾が　落ちた
核　中性子　放射能
ああ　平和　平和　平和

平和に包まれた
美しい世界を夢みる
現実には　現実には
人間どうしが殺しあう

国々には歴史がある
レッテルをはり差別する社会
人を貧富　上下に
白人　黒人　黄色人に
だが人の血は赤一色
心を寄せあおう
交わろう　愛し合おう　永遠に
平和の歌声をよび交わそう
ああ　平和　平和　平和
　平和　平和　平和

ヒロシマ

煙がたちこめる
空が赤くなる
閃光が光る人の身体
その場で消えた
黒い雨が放射能を降らせる
今はもう　今はもう
街もない　人もない

ヒロシマは消滅した
二十万の生命が絶たれた
いくたび生まれかわっても
忘れまい
これが人間のすることか

原子爆弾は
すべて
滅んでしまえ
完全に無くなるまで
放逐してしまえ
平和が
地上に　世界に
やってくるまで
人の生命は
人の生命は
野菜じゃない
魚じゃない
ヒロシマ
ヒロシマ
ヒロシマ

雨をまつ稲

雨をまつ稲のように
かわききって死んでゆく
望みは　かなうことなく
あきらめた生命
生まれ故郷捨て
赤子かかえさまよう
ふたつの足　ふみしめ
赤い陽　道てらす　道てらす
勝利にいたる道
豊かな実りある田
資本家は滅びさる
雨をまつ稲のように
何人（いくたり）が
渇ききって死んでゆく
何人が楽しくてくらす
人の背に乗ることは
水牛にまたがることとは違う

人と水牛

人と人が田を耕す
人と水牛が田を耕す
人と水牛のいとなみは
深くて長い
長い長いあいだいそしんできた
平和な労働
さあ行こう

鋤をかついで田にでよう
無知と貧困に耐えぬいて
涙さえかわいた
恨みと憤りの胸のうち
どれほどの苦しみにも動じない

死の歌がひびく
ひとの尊厳は失われた
ブルジョワは労働を食いものにし
農民を　低い階級
田舎者だと　蔑んだ
死のみがさだかなこと

MADE IN JAPAN
タイ・カラワン楽団の日本旅行記
カラワンのリーダー、スラチャイによる
日本の農村・漁村キャラバンの演奏紀行。
1800円（税抜き）
新宿書房　東京都千代田区九段南4-6-13
☎03(263)2610　F03(263)2735

インドシナ

インドシナ　インドシナ　インドシナ
ああ　インドシナ
ラオスをながめれば　奥深い寂寥感
メコン川　赤い血のように感じた
クメール　ラーオ　ヴェトナムは
みな似た者どうし
今も　いにしえの昔をしたう
インドシナとタイの心情は兄弟
メコンの流れがつなぎ
花ただよいゆく
メコン川　メコン川　花
ただよいゆく
インドシナ　インドシナ　インドシナ
ああ　インドシナ
この地域が戦にあけくれて久しい
いろいろな
人間集団がめいめい勝手に押し入った
土地を奪い　領土をぶん取り
国をむさぼり　地も天もと欲して
フランスが去ると
アメリカがやってきた
ロシアが手をのばす
中国がひよいと現われた
インドシナ　インドシナ
おびただしいマシンガンの楽きょう
山林をなめつくし
どこからともなく群がりよる
カラスたち
人の生命は　いともはかなく散り
流血にひたる土　産みだすべき地よ
霊長たる人類が　なぜ殺すのか
霊長たる人類が　なぜ殺すのか

インドシナ　インドシナ　インドシナ
ああ　インドシナ
ふりかえるたび　願わずにいられない
平和に向かって吹く風のおとずれを
インドシナの痛みに
ひきさかれた大地に
Uncle Sam 白熊　龍　狼
もう久しく　ささやく水音
傷つき　苦しみ　あえぐ
川の音がきこえる
メコン川　メコン川　メコン川
メコン川
死骸　流れゆく
インドシナ　インドシナ　インドシナ
ああ　インドシナ

スンイサーン（イサーン音頭）

郷里じゃ当今　飢饉で値上がり
田は水干れ　魚はいなくなり
のっぺらぼうの荒野
立ち枯れの木に
からっ風ひゅうひゅう
年がら年じゅう吹きすさぶ
オーホーホー
イサーンの地はいきりたっている
やおらお偉い方のせいで
やつらは根絶やしすると容赦ない
農民を平定するんだと
コミュニスト扱いされ
無実のものが捕まる
竹の切株さえ
ひっこ抜いて殺すんだ
根や実があるからだって
民衆は多勢だがかなわない
やつらは武力を使って攻める
やくざだぜ　鉄砲玉を撃ち込む
権力者に道徳はない
不正の徒　暴君たち
人民を襲い苦しめ
私利私欲に耽ける
わが同胞を欺き
アメリカだけを誉めたたえ
軍事基地を設け
国中にナイトクラブをつくらせる
われらタイ人は　米も水も奪われ
下層の者は飢えに耐える
イサーンの地は飢餓
木の葉やカボチャのつる草を摘み
カレー汁にして
めし代わりにして食う
オーホーホー
われらの娘は連れてかれ　抱かれ
女房はさらわれないが
押し倒される
民族の法は踏みにじられ
われらは全く哀れなものよ
オーホーホー
殺そうぜ　突こうぜ　刺そうぜ
われらには両腕の力がある
戦わないで　どうするんだ
悪党どもを追い出そう
足蹴にして追い払え

≪来日公演≫

8／12　[LOOK ASIA WEEKEND] 東京
17　河合塾　東京・千駄ケ谷
20　宮崎・綾町
21　水俣・湯の児台地
22　PP21文化会議
24　大分・大山町
26、7 [ASIAN FESTIVAL] 福岡
28　福岡・中間

豊田勇造

一九四九年七月京都生まれ。
小学校五年の時からギターを手にし、ボブディラン、ブルーズなどに触発されて、大学入学の頃からベ平連での反戦活動やライヴ活動を続けています。関西フォーク特有の主張性の強い内容と関西弁を活かした独特の勇造節には多くの支持者がいます。ジャマイカ、パキスタン、タイなど諸国を歴訪し、各地の音楽家と交流を深め、その活動はアジア全域に視野を広げています。とくに一九八四年、日本を演奏旅行中のカラワンと知り合い、翌年にはかれらの招きで友部正人とタイにおもむき演奏旅行を果たしました。
一九七四年に初めてのアルバムをエリックレコードから発売して以来、現在まで六枚のアルバムと一本のカセットブックがあります。

働いて飯を食い　夢を見て旅に様む
メーナム・チャオプラヤ河に抱かれて
アジアの子供にかえりはじめる・・・

花の都・ペシャワール

この街の朝は祈りで始まる
朝日に向かってじいさんが立つ
この街の朝はチャイで始まる
ヤギのミルク沸かすにおいがする

昔この国へ攻めて来た時
仏像の首を切りとった人の
血が流れてるとは思えない
やわらかいパキスタニが歩いてくる
（＊くりかえし）
花の都・ペシャワール
荒野に咲く街
生き急ぐことはない
死に急ぐこともないと
やわらかいパキスタニが歩いてくる

この街の昼は祈りで始まる
モスクではみんなが善人に見える
この街の昼はチャイで始まる
カリーが煮えてるにおいがする

国境を越えて逃げて来たのか
死んだ様な子供をヒザに抱き
道ばたに座る女の茶碗に
やわらかいパキスタニが小銭を置く
（＊くりかえし）
この街の夜はチャイで終わる
炭火を落とす気配がする
（＊くりかえし）

—KAPITAN POPONG—

PETA-BUGKOS（ペタ・ブコス）

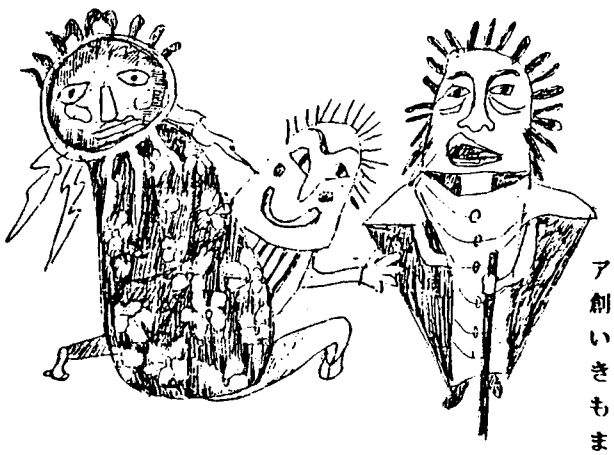
PETAは一九六八年、タガログ語文化運動の一環として、タガログ語による現代演劇集団として設立されました。七二年からは教育演劇ワークショップを開始しました。マルコス政権の戒厳令下、さまざまな干渉や検閲に出会いながらも、民衆とともに新しい演劇を模索し続けました。たとえば、歴史上のナショナリスト・ヒーロー、民族的英雄を題材にした闘いのドラマ「史劇」、人形や仮面を使った民話にもとづく「寓話劇」、「ドラ・トラ」（詩と劇）といったシンプルで、だれにでもわかる民衆演劇のモデルをつくりあげました。

PETAとは、フィリピン教育演劇協会（PHILIPPINE EDUCATIONAL THEATRE ASSOCIATION）の略称です。これは、演劇上演のための「カリナガン・アンサンブル」、演劇ワークショップのための「シタサ」、全国ネットワークの「リンケージ・セクション」、「調査」「出版」の五部門から成り立っています。PETAのなかには、MTTL（METRO MANILA TEENS THEATRE REAGUE）といった高校生組織も含まれています。

八一年にPETAはフィリピン国内にとどまらず、アジア全域にリンケージを広げ、日本の劇団黒テントとともに、アジア演劇会議（AJIAN THEATER FORUM）を設立しました。八六年には、日本、北米大陸、ヨーロッパで、フィリピンの二月革命を描いた「パナタ・サ・カラヤン」を上演し、各地で演劇ワークショップを行いました。また同時に、国内で演劇人ばかりでなく、他の文化人とのリンケージづくりも始めています。すでに、二冊の演劇ワークショップ・マニュアルを出版し、世界各地でPETA・メソッドのワークショップが行われています。

BUGKOSは、そうした活動のもとに設立された「民衆芸術と文学のための全国ネットワーク」です。

九一年には、マニラで民衆文化祭を、BUGKOSのネットのもとに計画中です。



ＰＥＴＡよりのメッセージ

われわれＰＥＴＡの日本移動公演では、単純にアジアの人びとの話だけでなく、アジアの国々で創造した表現のバラエティーをお見せしたいと思います。ここにくれば、民衆文化を観ることができます。アジアに起っている、オルタナティブをもとめる文化運動を目の当たりにすることができます。

《来日メンバー》

ホセ・アティエンサ（ジョジョ）
JOSE S.ATIENZA,JR（Jojo）男性 27歳

ベンジャミン・ヴィリヤリール（ジョンジョン）
BENJAMIN VILLAREAL(Jon.jon)男性 21歳

ホアキン・ヤブート（ジャック）
JOAQUIN YABUT(Jack) 男性 28歳

カレン・フリエサ
KAREN HULLEZA 女性 23歳

マ・グローリオサ・サントス（ベン）
MA.GLORIOSA SANTOS(Beng) 女性 24歳

アントニオ・アパット（トニー）
ANTONIO APAT(Tony) 男性 31歳

マリオ・カスティーリョ（マヨン）
MARIO CASTILLO(Mayong) 男性 27歳

マリテス・マドリド・アルメーロ
MARITES MADRID ARMERO 女性

——私たちは子どもの頃どんなだったか？ 私たちの子どもの現在はどんなか？

≪物語≫

キャスト：ポポン（別名カピタン・ポポン）
ポポンの母・ポポンの父
ヤヤ（子守）・学生活動家
ボイエット・ジュニア
大男・警察官
太った金持の子
おとうさん
その父（政治家）・その母

シーン1
　ポポンは畑でまんがを読みながら、時々空想にふけっている。「スーパーヒーローになったら楽しいだろうな」父親がやってきて二人は働きはじめた。「ボク、学校に行けるかな。もし行けないのなら、スーパーヒーローになりたいんだ」父親は笑いながらたしなめる。「雨が降りそうだから戻ってらっしゃい」遠くで母親の声が聞こえる。

シーン2
　嵐で作物がやられ、父親はぼんやりしている。母親は「今年は学校にいけないと思う。去年よりもっと悪くなって、地主に全部取り上げられてしまうから」と告げた。

シーン3
　ポポンの父親は村のみんなと地主にかけあう。しかし地主は「全部払うか、出ていくかを選べ」というだけだ。村人たちは何の手立てもない。

シーン4
　ポポンの家の食事、ごはんと干し魚。父親と母親は今後のことを話し合っている。母親は父親に農民の権利のためにたたかってくれるようにたのんでいる。ポポンは両親と町に出ていきたい。まだ一度も行ったことのない町へ。　暗転
〈デモのスライド。銃声と悲鳴〉

シーン5
〈スライドには虐殺のもよう〉
　ポポンは殺された群衆の中に両親をさがしている。路上の死体を誰かが運ぼうとしているとそれは父親だった。「父さん」。警官がポポンを追い払う。「カピタン・ポポン！」ポポンが叫ぶと煙がたちこめ、彼はきえた。路上の最後の死体が運び去られる。ポポンの母親だった。

シーン6
　ポポンは港の桟橋に立っている。空腹で物乞いをはじめた。警官に追いかけられながらもポポンはマニラ行きのボートにもぐりこむ事ができた。
〈ボートの音〉

シーン7
　ポポンはマニラの下町キヤポにいる。通りがかりの人からわずかな金を恵んでもらっていると、突然二人の子どもがポポンに襲いかかった。ボイエットとジュニアだった。しかしけんかが終わると三人は友達になっていた。ボイエットとジュニアの住みかはキヤポ桶の下だ。ポポンも一緒に住むことにした。

シーン8
　路上でチョコレートをかじりながらジュースを飲んでいる太った子供がいる。チョコレートを食べるのに夢中になったので、ジュースのパックを落としてしまった。ヤヤがやってきて、かいがいしく世話をして去っていく。ポポンはジュースを拾おうとゆっくり近づくが、その子供はポポンに気づいてぐしゃっとパックを踏みつけた。笑いこける子供。大笑いに笑ってむせ返り、地面にはいつくばりながらポポンにしがみついた。悲鳴をあげてヤ

ヤもしがみついてくる。とっさにポポンが「カピタン・ポポン！」と叫ぶと、雷がなり、稲妻が光り煙とともにポポンは消えてしまう。意識不明の子供。「ああ神よ！殺したのはポポンだ」医者や警官がやってくるが、ヤヤは「カピタン・ポポン」としか言うことができない。

シーン9

ポポンはキヤポ橋に駆けてくる。チョコレートとジュースを持っている。「違う。殺してなんかいない。あいつは食べすぎで気を失っただけだよ」ボイエットとジュニアが話をきいている。

〈スライドはストリート・チルドレンの生活〉

「とにかく俺たちは孤児さ。お助けなんていらないよ。俺たち同志で助け合うんだ」ポポンはそっと「ボクはカピタン・ポポンなんだ」と打ち明けるものの二人は笑ってとりあわない。突然パトカーがやってくる。三人は隠れるが、見つかってしまう。必死で逃げだす三人。とり残されるのは警官。

シーン10

太った子供の家。母親がヤヤを怒鳴っている。「子供をほったらかしにするからあんな事故がおこったのよ。死ななかったから良かったけど、入院しちゃったじゃないの。あんたはクビよ。すぐ出ていきなさい。」金持ちの政治家の父親もやってきてなじる。しかたなく出ていくヤヤ。キヤポの真ん中で一人立つヤヤが歌う。

シーン11

ボイエットとジュニアが警官に見つからないようにポポンを探している。もう朝だ。腹ペコの三人は、ダンキン・ドーナッツで捨てられる残り物を拾いに行くことにする。

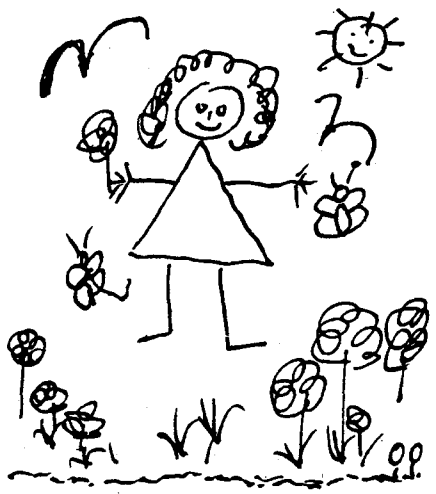
シーン12
キャポのダンキン・ドーナッツ店の前。人が出てくるたびに物乞いをしていると大男と警官がやってくる。子供達から金をまきあげる大男。店員がゴミ袋を持って出てくるが、子供達に気づくとわざとドーナッツを路上にぶちまけて踏みつける。「汚くたって気にしないさ」踏まれたドーナッツをかき集める彼らを店員が追っ払う。

シーン13
ボイエットとジュニア、そしてポポンは道でヤヤにでくわす。「仕事をなくしたのはあんたのせいよ」ヤヤはなじるが、ポポンはわびて、許してもらう。その後、ヤヤは大男に連れ去られた。どうやらセックス・ツーリストの町エルミタに連れてゆくようだ。「これはカピタン・ポポンの仕事だ。」ポポンは一人、ヤヤの後を追う。

シーン14
エルミタ。日本人の男たちが女を膝に乗せている。サンパギータのレイを売る少女も化粧をして客を誘っている。さっきの大男が日本人の男を連れて、小さなドアから店内に入ろうとしている。ポポンは後を追うが、ガードマンに止められる。「カピタン・ポポン！」小さく叫ぶと門があき、ポポンは中に入っていく。

シーン15
キャミソール姿のヤヤが部屋の中で泣いている。ポポンがあらわれる。「ここで何をしているの？」「ポポン！そっと隠れてちょうだい。気づかれてしまう。今までしたこともないことをやらされてるの。背中が痛い。」ドアの外で足音が聞こえ、ポポンはベッドの下にかくれる。日本人客があらわれ、なぶりものにされるヤヤ。
〈セックス・ツーリストのスライド〉
客が出ていくとポポンはベッドの下からあらわれ彼女を慰める。「ぼくは孤児だから、ぼくの母さんになってよ。」

シーン16
ダンキン・ドーナッツを食べながら窓からポポンが入ってくる。おそろしく汚い。
ヤヤはポポンの体を洗い、ちゃんと食べられるようにお金を与える。ポポンはヤヤに自分はカピタン・ポポンであることを話す。「本当かもしれない。でもね、その力がなくなったらどうするの？」とヤヤは笑いながらこたえる。ノックの音。あの金持ちの政治家が入ってくる。抵抗するヤヤ。ポポンはたまらずベッドの下からあらわれて、政治家に詰め寄った。その騒ぎの中、大男と警官がやってくる。「だんな、この子ですよ。あなたの息子を殺そうとしたのは」。ヤヤはハサミをとりあげ、ポポンを守ろうとするのだが大男と警官に部屋のすみに追い込まれてしまう。



「カピタン・ポポン！」とポポンが叫んだとたん、煙がもくもくと湧いて真っ暗になる。

シーン17
少年鑑別所。看護婦がやってきて、うなされているポポンを揺りつけ食事を与える。食物は腐っている。他の子供達もひどく汚い。看護婦の合図で気ヲツケの姿勢をとるとあの金持ちの太った子供の母親がカメラマンと一緒に入ってくる。子供達に贈り物を与えるたびにたかれるフラッシュ。贈り物をうばいあう子供達。「生きている限りぼくはカピタン・ポポンでいられるのかな？そうだったらもうお腹をすかせることもないし、ただ空を飛んで地上を見下ろすだけだろうな。でもぼくはもうひとりぼっちだ。ここを出ていかなければ。ここでは生きていけない。」それからそっと「カピタン・ポポン！」と叫ぶと煙のなかにケープをまとったポポンがあらわれる。

シーン18
〈マニラのデモのスライド〉
ポポンはまた、マニラの街角でボイエットとジュニアと一緒にデモを見ている。それからデモの後についてメンジョーラに向かう。消防自動車のサイレンが聞こえ、突然銃声が聞こえた。「走れ！逃げろ！」麻薬でフラフラのジュニアが置き去りにされるが二人は彼をかつぎあげて逃げる。かたわらで女子学生が倒れる。二人は彼女もひっぱって逃げる。
〈デモのスライド〉
キャポ橋の下で女子学生が目を覚ます。「こんなことをしているのはこの国の皆んなが貧しいせいなの。ストリートでこんなことをするのも自分の生き方を変えてゆくためなのよ。」ポポンは「ぼくがストリートで生活するのは、生きるためなんだ」と答える。「あなたも一緒にみんなの生活している学生ホステルに行こうよ！」と女子学生がいって、ポポンを学生のホステルへつれていく。ホステルでは学生たちが様々な活動をしていた。
夜、ポポンは女子学生に抱かれながら眠りについた。

シーン20
女子学生がビラをつくっている。
〈工場労働者、スラムの人々、農民、ストリート・チルドレンのスライド〉
「たたかえば、母さんがもどってくるの…？ねえ、ぼくの母さんになってくれる？」ポポンはたずねるが彼女は何も答えない。新聞を広げるとあの太った子供の両親の写真が出ている。大地主で山の森林の伐採をすすめる政治家だ。学生たちはその政治家の家に押しかけ団交するのだという。ポポンも一緒に行くことにする。

シーン21
〈メンジョーラ・デモ〉
デモのなかで、ポポンと学生たちはビラをまき、土地改革のための嘆願書に署名を集める。突然、軍隊の発砲が始まり、女子学生は走るうちに打たれて倒れる。
「かあさーん」ポポンは叫ぶ。「かあさーん！あいつらが、またぼくの母さんを連れていってしまった。」

「ともに生きる地球」をめざして!!
オルタートレード・ジャパン

A・T・Jは第三世界の民衆団体と直接に手を結び、彼らの経済自立活動を支える産物を輸入しています。

東京都新宿区新小川町1－19
03(269)4823

来日公演　*「キャプテン・ポポン」*
8/12　東京[LOOK ASIA WEEKEND]
8/15　名古屋
8/18　大阪
8/22　水俣
8/25　福岡[ASIAN FESTIVAL]

この公演は
日本アセアン学術交流基金
の協力を得ています。

CHUMBAWAMBA

チャンバワンバ（疲れを知らないパンフレット書き）は、一九八二年イギリスのリーズで結成されました。彼らは演奏だけでなくビラや小冊子を作ったり、デモに参加するなどさまざま表現活動をします。一九八四年、イギリス炭坑労働者のストライキのおりには、その家族のために資金集めの慈善公演ツアーを行なったり、ピケット・ラインを訪問したり、街頭でのカンパ集めや集会を組織するのを手助けしました。

八五ー八六年には、世界中の政治犯を救援するためのヨーロッパ公演旅行を行ないました。現在も、緑の運動から女性組織、自由主義的教育から反核キャンペーン、地域の労働ストや先住民の闘いを支援するなどさまざまな人びとのために公演をしています。

彼らは商業的なバックボーンを何ら持たないにもかかわらずそのインデペンデントな活動によってヨーロッパ全土に根強いファンをもっています。反アパルトヘイトのレコードをつくる一方で、兵器製造に手を貸したり、南アフリカに投資するような音楽企業を批判します。またポップカルチャーの陳腐な男性支配的な常套句をきらって、女性の抑圧に対する歌もうたっています。

結成以来、チャンバワンバが参加したプロジェクトには、子供たちのための劇や音楽のワークショップ、街頭演劇などもあり、コンサートでも演劇を導入するなど多様な方法でメッセージを理解してもらうよう力を注いでいます。

今までに3枚のLP、2枚のシングルを自主製作しました。最初のシングル「革命」(REVOLUTION)、その後のLP「飢えた子供の写真でレコードを売る」(PICTURES OF STARVING CHILDREN SELL RECORDS)は既製の音楽業界を批判したもの。

八七年に発表したLP「選挙なんてどうでもいい」(NEVER MIND THE BALLOTS)は、イギリス議会選挙をテーマに、いわゆる「民主主義と自由の選択」をシニカルに表現し、自分たちの生活と未来を取り戻すことへの楽観的展望を語りました。

彼らは音楽が真の変革のための闘いにおいて小さな役割しか担えないことを知っています。しかし音楽によって、私たちの根底にある偏見をなくし、自分たちの意識を解放していかなければならないことに、人びとが気づいていくことを目指しています。

*スラグ・エイド

・・・慈善事業を成立させている大雑
把な経緯をゲーム番組的に解釈する。
エゴや銀行預金高を膨らませる、新た
な演出を模索するトップ・スターにと
って、チャリティーは最高の業務計画
なのだ・・・

物が売れる、人々が死ぬ
嘘にくるまれたいつものごまかし
金をちょっぴり贈って
君のロックンロールをおやり
最低の愚か者たちに最高の値段
変革ではなく、施しのファッションに
乗り遅れまいとして
私達の寄付をどうぞ
――スラグ・エイドをやろうぜ
俺たちがのけ者にしている
ポップ・スターを皆集めて
何百ポンドものベテンがばれるよ!

ボール・マッカートニー――おいで!
ワニの涙をながしてこの地を潤し
エチオピアを肥沃な別天地にしな
皆がビートルズ・ソングを歌い
EMIの株を買う

フレディー・マーキュリー
――これこそ君の人生!
白人に生まれたことを神に感謝しな
素晴らしい機会を可能にしてくれた
アパルトヘイトに感謝しな
サン・シティーて君の偽善が知れわた
ったんだから

デイヴィッド・ボーイ
――王子様は正しい!
憐れみ一式と軽蔑一吐き
だが疑う者たちの声
コカコーラで農民たちは
この早魃を癒せるのかい

ジャガーとリチャード
――お笑いゲーム!
踊りながらついていって
庭園の道を降りる
金が木に成っている場所まで
飢えと病いがコカインの
資金源になっている場所まで

(糸を引いている人形つかいにきけ
「人形が歌うと儲かるのはだれ?」
企業にきけ「金はどこにいく?」
空腹の子供たちにきけ「俺たちは何
のために歌っているのか」)

そしてクリフ・リチャード
――三、二、一! 宗教がなくとも
神のまま
クリフ、特別なプレゼントがあるよ
こっちへおいで、こっちだよ
クリフ、本当に道徳観あふれる見本
あなたのような純粋な聖者が
この地を護りに来てくださらんことを
だからテレビをみている
視聴者を代表して
空腹の幾百万もの人々を代表して
皆が気に入るような
特別な物を捧げます
クリフ、
今夜は十字架にはりつけてあげるよ
所有するあらゆる物、空間、家を
奪い家族から引き離す。
そして何か違うことを言ったら
顔面を撃つ。
――ええと、これこそが
この四〇〇年間私たちが
第三世界に行なってきたことなのだ。
君や私が、だ。家で見ている君、
スタジオにいる私、ポップ・スター、
あらゆる人びとが。
こうやって今、そしていつの日も、
私たちは第三世界を築き上げている。

この企画に意見のある人は
「爆弾郵便だけだよ!」
――下記のところまで送ってください。
Bp House
Victoria Street
London SW1
サンキューそれにグッドナイト!
世界を自由に。

金持ちを飢えさせろ・・グッドナイト!
あるはずだ
ほんのちょっと施す以外のやり方が
世界の半分が貧困の極みに
本当の解決を渇望し喘いでいる時
――あるのは慈善と伝統だけだ
飢えた子供たちの輪が
ぐるぐる回り続ける

*スラグ…金属を精錬するとき上層にう
かぶかす。

ぼろかくし

・・・西側にいる私達が世界の覇者で
あり、私達の「援助」プログラムだけ
が第三世界の人々を救うだなどという、
学校で習う歴史と報道界で売られる嘘
・・・

子供たちは学校で机の前に座らされ
地図を指さし、教科書を勉強
嘘や意見が事実のように示される
受け入れること、疑問を抱かぬことを
教えこまれ

(レディーバード社の本のなかで微笑
む労働者たちコーヒーなんか一滴も
すすらないレンガやモーターを手に
忙しい会社の壁を作ろうと)

映画が催眠術をかける
他人の暮らしをながめて
自分の一生をおえる
あまりたくさん見すぎて
分からないでいる
これが煙幕だということが
だから人々が死んでいくということが

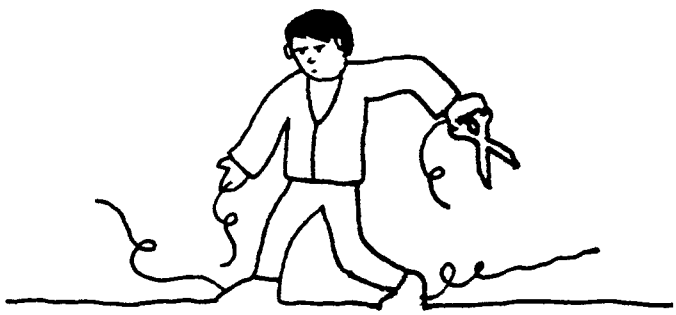
(微笑むニュース司会者たち
キュー・カードを全然読んでいない
筆とバケツを手に忙しい
会社の壁を塗って
ぼろかくしをしようと)

大声を出せ、もう一度やるんだ
涙を流させろ、お楽しみを演じろ
偽りの世界について歌え

慈善を強要して、退散しろ

（知りたいと言い張る金持ちたち
この世界のどこがいけないのかと
そんな彼らは
何も知ることはできない
命令を下すことで忙しいのだ
別荘を作るようにと私達に命じて
命令に応じる私達
まったく疑問をいだこうとはしない
シャベルと聖書を手に忙しい
貧乏人を買おうと）

大量生産され配られる
一日をすごすための目隠し
おかげで自分がどこまで関わっているのか
絶対にわかりっこない
簡単にだまされる、問題は皆解決
飢餓は僕たちとは
まるっきり関係ないこと、と君は言う
そう書いてあったのを読んだのかい、
だから本当にちがいない、か
ドキュメンタリーを見れば
全部わかるよ
受胎調節の
単純な問題でしかないんだよ！
金をちょっぴり送れば、
今夜は安心して眠れるね
それとも同情して最大限に食事制限して飢え死にするかい！
慈善が栄養失調を直すと
君は思っている
そして飢餓はテレビに
新鮮さを取り戻してくれると



ニカラグア

・・・ニカラグアの民衆が海外の銀行
主の傀儡よりもずっと巧みに秩序ある
生活を組織できることを世界に示して
から十年たったが、いまだに力強い人々の姿・・・

古いニカラグアを描く言葉
換金穀物や飢えや米国支配
ボスの需要に合わせて
供給するため作られた
企業所有地のコーヒーや砂糖

七九年七月のある朝のこと
ニカラグアは
そんなものはほったらかしてしまうことにした
だから人々は
暮らしを取り戻そうとしている
女たちは今までまったく知らなかったことを手に入れようとしている
――家の外で手をつなぎあう力
平等であること
公平であることを見出し始め
この革命を分かち合うことを確かめる
失ったチャンスを取り戻し
さらに要求の声をあげ
工場を営み闘い抜く

だから人々は
暮らしを取り戻そうとしている
国が変われば、
サンディニスタは生き残る
終わった、済んだ、と
がなる者はいない
兵や銃に頼りすぎている

子供を育て、
皿いっぱいに盛り付けるには
コントラを
ワシントンまで追いかけるには
ヤンキーの陰謀が投げつけられる、
地面に変革の霊が宿る場所に

だから人々は
暮らしを取り戻そうとしている
国が変われば、
サンディニスタは生き残る

Clause 28 をぶっつぶせ

・・・Clause 28 第二八条に反対する歌。Clause 28 とは、昨年イギリス政府で可決された、ホモセクシュアリティーに肯定的な情報が学校や図書館に流布することを阻止する目的で作られた法案・・・

オスカー・ワイルドさん、
オスカー・ワイルドさん、
どこに行ってたんだい、教えておくれ
女王様に会いに
ロンドンに行ってたんだ
オスカー・ワイルドさん、
オスカー・ワイルドさん、
何をみたんだい、教えておくれ

女王様と廷臣たちが新しい法律を
ささえているところを見た
隠れ同性愛者がうずめく
権力の廻下を見た
つまり皇帝の新法律の影にある
真実を見た
君たちは本を焼くんだね
他のあらゆる可能性に目をつぶって
敵と手を組み続け
ガラスでできている
自分の家に石を投げ続けている
マッカーシズムが
大手を振って歩けるよう
手を貸したのは君たちだよ

（アブラハム・ミークリー師の説教より）

「道徳家、裁判官、司教に恵みあれ。
三流新聞、エイズをジョークにするコメディアンに恵みあれ。犯罪づくりの名人、恐怖心の煽動家、罪の首目的崇拝者を讃えよ。」

Glory Glory Hallelulia His Truth is Marching On.

十人に一人が地下に
どんどん遠くに隔離される
そ知らぬ顔してバイブル片手に
素性を隠し通す
第三帝国の道徳観
——もしこの帽子が合わないようでも、
偽装用にデザイナー・ブランドの物も用意してございます。

君のドアを役人がノックしている
制服のポケットには
保護命令書が入っている

**ラドクリフ・ホールはどこだ?
Clause 28 を無効にするのは今だ!
君の魂を点検に説教師がやってきた

「もう遅すぎます、
むしろ罪を犯してみたいんです」

お前たちのパンを食べつくしてやるぞ
お前たちのワインを飲みつくしてやるぞ
おまけにClause 28も無効にしてやるぞ!

判事がやってきた、
手にハンマーを持って
だが石頭の命令に貸す耳などもうない
私たちの正義こそが
署名の細く青い線を乗り越えられる
Clause 28 を無効にしてやるぞ

レンガが一個飛んでくる、
君の目の前を
具体的な意見で
私は言いたいことを発言する
自分の魂は大切にな、私のは大丈夫
第28条をズタズタにしちまえれば

*作家オスカー・ワイルドは一八九五年はその同性との性的関係を理由に二年間の労役を課された。

**ラドクリフ・ホール・・女性の女性に対する愛を初めて繊細に扱ったレスビアン作家のうちの一人。

Come On Baby

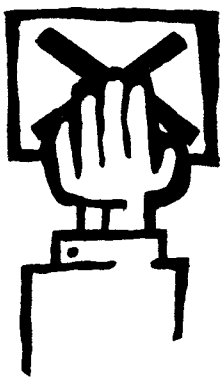
・・・流行の商品としての革命は、ポップスターを反逆児として仕立てあげているレコード会社にとっても、絶好の金儲けの材料だ・・・

Come On Baby、革命しようよ
レコード六ポンド、Tシャツ七ポンド
バンドの写真一枚に
約束の地行きの切符一枚

おおぼらふきには用心
何も考えずダンサーを集めている
ポケットほどの
変革のリズムに合わせて
——全ての答えを備えたグループ登場
——投票したら口は閉じていろ!

一連の同じ指令
あらゆる力は私達の手元を離れ
政治にしっぺ返しがいく
企業の敷地内では
Come On Baby、革命しようよ

俺たちは皆平等になれると奴らは言う
私たちが支配をすれば、と
投票したら
おきまりのロックンロールに溺れてろ
ローディー、マイ・ギター



婦人参政権をわたしたちに

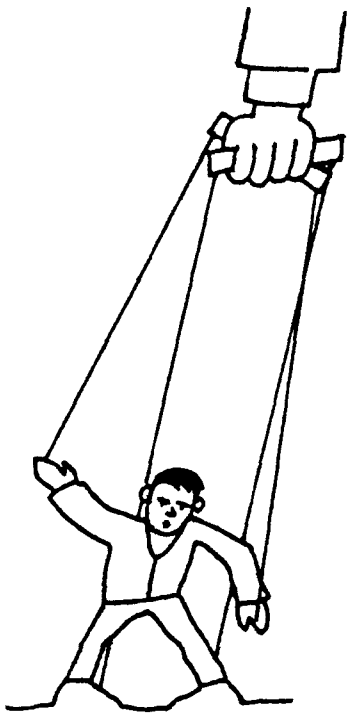
：：今世紀初めにイギリスで婦人参政
権を獲得した女性活動家たちの、歴史
的位置づけ。これは、男性がいまなお
いちじるしく支配しているイギリスの
政治世界においては、たんに名ばかり
の見せかけにすぎなくなってしまって
いる。そして、イギリスの最初の女性
首相が、近年の前任者たちよりも男ま
さりであるという皮肉：：：

えんえんと続く毎日が一瞬凍りつく
彼女がインチキな取り引きを
拒否したときのことだ
良妻の娘たちが
こう言ったときのことだ
：：犠牲以上のものが
払われなければならない
見せかけの変化ではだめ
工場や実りのない結婚に縛られて
黙って無為にやり過ごしていてはだめ
（男は神だった、女は無力だった）

年がら年じゅうレンガを手にして
偽りの家を女は築き上げた
悪魔のような男たちは包囲された

男たちの支配権は
椅子の下にうずくまった
男たちの支配権は
ブランデーと増強剤を必要とした
男たちの支配権はたえず爆発した

扉を打ち壊すすんでのところに：：
昔のがんじょうなブルー・ラインと



馬鹿げた法律
受難の日が来て彼女を傷つけ、
そして不屈にした
闘いの勝利からもたらされた
一個のレンガ！
Rapunzel*が象牙の塔を切り崩した

アスキス首相はすばやく時局に対処した：：
愛国主義に訴えた
ごまかしの笑いは
何にももたらしはしなかった
妥協とはそういうもの

状況を完全に把握し、
アスキスは言った
「婦人のみなさん！　婦人のみなさん！
　お聞き下さい！
１９１４年、今わたしたちは
戦争の瀬戸際に立っています
国旗を持つのです、
婦人参政権運動をやめるんです！
あなたがたの目標は

革命の阻止なのです
民主主義を守りましょう！
ここに一枚の文書があります
あなたがたは自由であることを
認められています
ここにみなさんが従うべき
訓示のリストがあります
（そしてここにはおまえたちの喉元を
切り裂くべく鋭利なナイフがある参政
権と引き換えにちょっと犠牲をなって
もらおうか：：）」

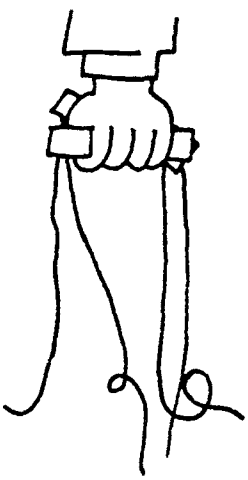
ゆるやかな改革なんてうんざり
：：自身の運命をかけて真剣に発言
する、私たち普通の人々を支える声・
：

ゆるやかな改革なんてうんざり
お古なんて吐き気がする
あいつらの理論なんて
丸ごと地面にたたきつけてやる

本物の変革は
下から全部沸き起こるもの
ボスたちは工場で
働く者たちにびくびくしながら
暮らしてるはず

それで奴らがニヤけて
支援してほしいなんて言ってきたら
こう言ってやる、
ギャフンと言わせてやる
戦争している時に敵に手を貸せるかよ
こぎれいな言葉には吐き気がする
ずっと無視されてきたんだからね
つばで靴を磨いてやるよ
心がプランをつくる
体がスタートをきる
的を奴らの鉄の心臓にすえてみせるぞ

それで奴らがニヤけて
支援してほしいなんて言ってきたら
こう言ってやる、
ギャフンと言わせてやる
戦争している時に敵に手を貸せるかよ



ひとつひとつの怒りのことば

・・・自分たちの声が皆に届くように
闘わなければ、私達は無視され続ける
だけだ・・・

ひとつひとつの怒りのことば
ひとつひとつの鋭い非難のことば
ひとつひとつのうたが
ていねいに生まれてくる
もっとよい何かの訪れを期待する
気持ちのなかから

何もかもがごちゃまぜ
愛と憎しみと愛と
それぞれがたがいに拍車をかけあって
平和を生み出すために私たちは
戦争にでかけなくてはならない

中国

・・・民主化運動の鎮圧の後で。天安門広場に続く道で戦車に立ち向かう少年一人。戦車を止め、砲塔によじのぼる。その後、スイカの季節になると、いたるところに手押し車が。夏の暑さのなか、北京を守る孤独な兵士たちに、「感謝をこめて」人々からスイカが贈られる。スイカには毒が入れられていた。兵士たちは死んだ・・・

頭を下げろ、伏せろ、敵がやってきた
民衆の勝利を讃えようと
――民衆ってだれだ?
――勝利って何のことだ?
人民を殺した人民軍
やつらは
粉々に砕かれた広場の記念碑を
くっつけにやってきた

頭を下げろ、伏せろ、敵がやってきた
同じ髪型、引き金に指をかけ、
――相手は俺かもしれないぞ
戦車――静寂に亀裂をいれる
俺は武装した
――上着のポケットに
対戦車ロケット弾を入れて
――気をつけろよ!
皆、見たはずさ。
「白いシャツを着た少年」
君は戦いたいのかい?
そうかい、君とどこの軍とかい?
人民は人民軍よりも強いんだから
俺の親父は
お前たちの親父さんよりも強いんだから
ら・・いつの日か、いつの日か
横断歩道はすぐそこの角
横断歩道はすぐそこの角
横断歩道はすぐそこの角
でも俺の方が先さ
でも俺の方が先さ

敵を前にむきだしの怒り
引き下がるか、殺すか。少年対戦車
君は戦いたいのかい?
そうかい、君とどこの軍とかい?
よう、兵隊さん、スイカを食いな。
落ち着くはずだよ

ハンガリー、'56

:::ソビエトのハンガリー占領に対するハンガリー民衆の反乱、とくに、労働者たちがどのようにしてスターリンの塑像を引き倒したかについてのうた:::

鍛冶場での労働
――真っ黒な肺、焼けた膚
硬く、弓なりに曲がった背中
――叩く、叩く
スターリンがおれたちを見張っている
――pigeonshithead
おれたちは床につばを吐く、
この赤いならず者の神に

おれたちはやれるんだ!
おれたちはやれるんだ!

ブロンズ像、ピンクの大理石
――とうとう建てられた
おれたちはそいつのひざを
一晩のうちに砕いた
残った靴の部分をおれはぶっ壊す
叩く、叩く――過去は過ぎ去る
おれたちはやれるんだ!
おれたちはやれるんだ!

騒々しさがあたりを包んだ――
ハトが翔ぶ――塵が積もる
暗闇のなかから
おれたちは街頭へおもむいた
デイヴィッドが
あの巨人の足を粉々に砕いている
おれたちはやれるんだ!

おれたちはやれるんだ！

（来てみたいって？
遅い、手遅れだ
おれたちはお終いだ、
おれたちは力尽きた
刈り取られた小麦のように）
だけどおれたちは立ち上がって生きた
少なくとも、最後には
だけどおれたちは立ち上がって生きた
少なくとも、最後には

ルーベンス
：：右翼急進派による新生ワイマール共和国打倒の企ての次に、ドイツ革命後、ドレスデンで労働者と軍の間で衝突が起こった。弾丸がZwinger・ギャラリーの窓を破って、ルーベンスの絵に傷をつけた。ドレスデン学術院の美術教授であるKokoschkaが金を出して、地方新聞や壁面ポスターで呼びかけをおこなった。ルーベンスのような文化遺産には、右翼も左翼も自分たちの憎しみを決してむけてはならないと主張した。George Groszとジョン・ハートフィールドは、政治闘争を少しも省みないココシュカの美術評価に憤激し、「スキャップ（スト破り）としての芸術家」とよばれた激しい論争で応えた。それは、労働者の生活よりも芸術のほうが重要だと見なしうるとする思想を嘲笑うものであり、弾丸が貧しい者たちの住居ではなく、ギャラリーやPapacesやルーベンスを突き破ったという事実を良しとするものであった：：

いそげ！　ルーベンスが撃たれたぞ！
外で戦闘がおこなわれている
心臓をまっすぐ突き抜けた
街頭からの流れ玉

いそげ！　ルーベンスが撃たれたぞ！
ここには死傷者がいるんだ
どこか別のところへ弾丸をむけろ
ここじゃなければ、どこでもいいから！

いそげ！　ルーベンスが撃たれたぞ！
労働者や貧民を撃て
やつらは工場や家にいるんだ
だがルーベンスには手を出すな！
おおっ！　私のとっても大事なもの！
撃たれちまった！
そんなあさましい戦闘はやめるんだ
なにかもっと偉大な目的のために
お前たちの憎しみを向けるんだ

いそげ！　弾丸、
もっとたくさんの弾丸で
あんたたちの飾りものを
ぶっこわしてやる
現実の世界によって
粉々にしてやるんだ
すべての無用の遺物を

いそげ！　ルーベンスが撃たれたぞ！
彼を殺して楽にしてやれ
無駄な空間をみんな撃ち砕け
このギャラリーを燃やすんだ
「おお、私の文化遺産が」

アン・ホールデン　ボーカル
アラン・ウェイリー　ギター、クラリネット、ボーカル
ジャコバ・ラーン　サウンドエンジニア
デビッド・マイルス　ベース、トランペット、ボーカル
ルイーズ・ワッツ　ギター、ボーカル
ニジェール・ハンター　ボーカル
ダンカン・ブルース　ボーカル
ダレン・ハマー　ドラムス

ANA
この公演は全日空（ANA）の協力を得ています。

TEARDROPS

メッセージ

「俺はあんな日本人じゃなーい」とかつて私たちの友人が海外から帰って言ってましたが、事実実感として心に刺さった。

まったく今のシステムは狂ってる。本当なんだ。それは気づきもしない程の「仕事」に追いまくられ全てが金銭と数字で計られる世界。

「こんなものはぶっつぶしてしまえ」と言いたくもなるが、しかし自分達の音楽活動を通して少しずつでも、人びとの意識をROCKし続けてゆきたい。積み重ねてゆくことで、たとえ一人でも状況に目覚め、自己の内側にも目を向けて、素晴らしい、そうだな、あえて言えばポジティヴな生き方が生まれてくればと願いつつやってます。奪われるのはもうゴメンだぜ。

カッコ良いことはあまり言えない俺達ではありますが、しかしやる事はやるぜ。

メンバー

山口富士夫　ヴォーカル&ギター
青木　真一　ヴォーカル&ギター
中嶋　一徳　ベース
佐瀬ビッグビート浩平　ドラムス
高木　親　サックス&パーカッション

曲目

1　まいた種
2　うまくダマしたつもりか？
3　皆殺しのバラード
4　その点シェイキン
5　気をつけろ！
6　グッ’モーニン！

WILD EYES

・主な活動

VO. SUGAWARA(ex.NORA)
Dr. TAKAHASHI
B. NISHIYAMA
G. OHTSUKA(ex.EGGS)

8/13 杉並公会堂 (with TEARDROPS 他)
9/16 高円寺 20000V
10/ 9 新宿 ANTIKNOCK
10/30 インクスティック芝浦ファクトリー

マスメディアに垂流される幾つものlie&lie
ギミックばかり塗りたくられ目の前も見えやしない
現在（いま）この時も大陸では誰かが叫んでいる
もしかしたらその叫びがROCKかもしれないんだ

The newest addition
Can you hear our Punk Rock?
Addition from our soul
Here is a Love Song

RADIO HACKER

Vo.TAKEMI
G. YUKI
B. TAIJI
Dr.CHANKO

1988,9.4　新宿LOFTにてライブデビュー。その後、新宿を拠点に月３～５本のライブ活動を積極的に展開し、確実に動員を伸ばしてきた。
RADIO HACKERのサウンドは、ひとことでは片付けられない。ビートあり、R&Rありまたロカビリーあり。それらがうまく調和して個性的なRADIO HACKER'S SOUNDになっている。そして、安易な詩が多いなかで、RADIO HACKERの詩には強い自己主張がある。
　そんなRADIO HACKERが、この９月で結成一周年を迎える。それを記念して、一年前と同じ、新宿LOFTで初のワンマンをひとつの足跡として行なうこととなった。

9/4　新宿LOFT　ワンマン
9/16　川崎CLUB CHITTA

一度や二度じゃ捨て切れない
夢が夢で終わっても
それでも笑っていられるのかい？
瞬きをする間に
流行（はやり）も変わる世の中じゃ
わかるけど腐っちまうのは少し待てよ

T. H. U. R

G. HIROL
B. NARUTO
Dr.SHINKIRO

SoSo

Vo. 生田萬次
G. 愛染恭介
B. クリス シルバースタイン
Dr. ダンナ
Key. 大島迅人
LG. 中島大介

＜シングル盤用ライナーより転載＞

『イザベラ』と『夢のエステイトワゴン』は、日本の現状に生きる様々な人間像を想起させるとともに、それらの人々の抱えている心の叫びといったものまで顕にしているような気がする。人間への深い洞察と、限りなく優しい眼差しがそこにはあるからだろう。

それはいわば“共苦”の世界からの叫びである。アメリカでは、丁度B・スプリングスティーンが労働者階級の生活体験をROCKというメディアで表現し広い共鳴を呼んでいるように、生田が、日本のオーディナリー・ピープル（普通の人々）の世界を美しく、パワフルに歌いあげていることは、賞嘆せざるを得ない。

心の耳で聴きたいものだ。

ルベン・アビト

インドシナ
日本には 安楽な
眠りがある 戦わないことが
インドシナ りこうだってさ
日本には 恋人の腕に
疲れきった 抱えられた方がましさ
享楽がある そいつが幸福だってさ

ZOLGE

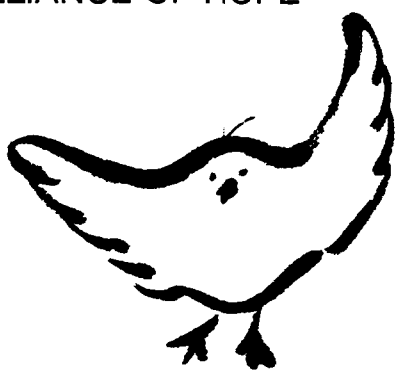
Vo. HARUHIKO ASH
G. AKI
B. HIDEKI
Dr. REI SUSHIDE

ZOLGE: 妥協的なシーンの中で彼等が叩き付ける直線的R&Rは貴重な存在と言えよう。ニューヨーク・アンダーグランドシーンとの積極的な接触も、特筆すべき活動の一つである。

現在、彼等の参加したオムニバスビデオ「宝島VOS増刊ROCK FILE」が発売中であり、今秋にはCDミニアルバムもリリース予定である。

ピープルス・プラン21世紀

ALLIANCE OF HOPE



1989年夏・国際民衆行事

ピープルズ・プラン21世紀―アジアと共に未来をつくる」（略称 PP 21）は、私たちとアジア・太平洋の人びとが出会い、共有しうる未来社会をトータルに構想し、実現に向けての第一歩を歩み出そうという企画です。

「国際国家日本」とか、「世界に貢献する日本」というかけ声が、いたるところで聞かれます。しかし私たちのもっとも身近な外国人であるアジア・太平洋の人びとと、私たちとの実のある交流や共同の仕事が本当になされているとは思えません。

PP 21はかれらと私たちとの出会いの場であり、討論の場であり、祭りの場であり、また民衆同志の交歓の場でもあります。

アイヌや沖縄の人びとがオーストラリア先住民やフィリピン少数民と出会い、先住民・少数民の苦悩や闘いの経験を共有します。

「シャモ」「ヤマトンチュー」は、先住民・少数民に脈々と流れるいきいきとした文化に出会い、自らの文化を問い直し、共に新たな文化の創造に向けての歩みを開始することになるでしょう。

世界の「百姓」たちが山形・新潟に集まり、危機にさらされる「農」や「食」の問題を語り合います。

女性たちはアジア・フェミニズムを構想します。

アジア・太平洋の人びと共に脱原発社会や基地・軍事化の問題、援助（ODA）の問題、さらには「8・15」が語られ、オルターナティブが探られます。

そして水俣で、200人を越えるアジア・太平洋の人びとと私たちが出会い、共につくる21世紀を大胆に語り、「民衆の択びとる21C宣言」を採択する予定です。

最後は、福岡で大フェスティバルを行います。アジア・太平洋の演劇・音楽・絵画が交流し合います。民衆が実際に交易をし始めます。

PP 21は、アジア・太平洋の多くの市民団体が私たちとともに加わって日本全国でさまざまな人びとを数珠玉のように糸でつないでゆく作業です。ともに21世紀のオルターナティブを構想し実践に向けての第一歩を踏みだしましょう。国際会議、シンポジウム、演劇ワークショップ、コンサート、物産展、共同行動などの一連のプロジェクトが、この8月に列島を縦断します。

世界先住民会議
歴史を担って未来へ向かう
8 7-14（札幌・二風谷・釧路）

百姓国際交流会
百姓として考える、農村から発言する
7 29-8 2（山形県置賜）

食と農といのちの広場
8 3-7（新潟）

アジアン・フェスティバル 出会いと交流
8 25-27（福岡）
民衆物産展・たべもの横丁・民衆交易見本市
民衆運動交流ゾーン・演劇祭・国際協同組合
見本市・コンサート

稲作経済圏フォーラム'89
8 9-12（岩手）
―コメの未来とアジア
太平洋地域を考える

日消連・IOCU
アジア・太平洋消費者会議
―いま私たちが新しい世界をつくる
8 18-21（大宮）

民衆文化の祭り
ルック・アジア・ウィークエンド（東京）

国際化のなかの管理と人権
―くらし・教育・労働から考える
8 4-6（名古屋）

アジア女性フォーラム
―アジアフェミニズムの地平をひらく
8 11-15（横浜）

PP21まとめとひろがりの広場
択びとる21世紀民衆宣言へ
8 20-24（水俣）
ACFOD（発展のためのアジア
文化フォーラム）総会
8 16-18

神奈川国際シンポジウム
平和と正義のアジア太平洋をめざして
軍事・外交・経済
8 17-19（横浜）

アジア太平洋反基地会議（仮称）
アジアの中の沖縄
沖縄の中のアジア

8・15反戦反核共同行動 8 15（東京）

アジア労働者連帯会議 アジアの労働者とともに労働
運動の根本的変革に着手する
8 7-9（東京）
8 12-14（大阪）

People's Plan 21 — Alliance of Hope
August, 1989 in the Japanese Archipelago

周辺からアジアを見る

●インドネシア周辺部の海上民と日本の係わりを考える
スラウェシの海辺から
〈もうひとつのアジア・太平洋〉 村井吉敬 一、九五七円(税込)

●島嶼社会から世界を見る!
水半球の小さな大地
〈太平洋諸島民の生活経済〉 長嶋俊介 二、二六六円(税込)

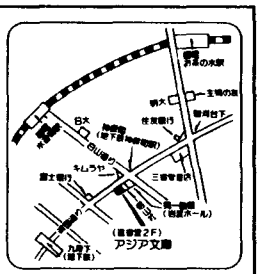
●シンハラ・タミル間のエスニック紛争を見る!
祭りと社会変動
〈スリランカの儀礼劇と民族紛争〉 渋谷利雄 二、四七二円(税込)

●一本のバナナから第三世界と日本の関係が見えてくる
バナナから人権へ
〈フィリピンバナナをめぐる市民運動〉 杉本皓子 他 一、二三六円(税込)

東京都千代田区神田神保町1-41 同文舘 電話東京(03) 294-1801

第三書館
東京都新宿区大久保1-16-15
豊生堂ビル904 ☎(208)6668

もっともっと知りたいアジア!!
アジア専門書店 **アジア文庫**
朝鮮・韓国、東南アジア、インドほか
アジア各国日本語文献で豊富に品揃
私たちがアジアについて知りたいと思いたったとき、その選択の余地は極端に限定されたものとなっているのが現状です。この格差を少しでも埋めることができれば、と考えたのがアジア文庫をつくるきっかけとなりました。
新刊案内(隔月刊)発行、年間購読料400円(切手可)
〒101 東京都千代田区神田神保町2-3 蓮省堂ビル2F



■営業時間/午前11時~午後7時
■定休日/日曜日
■PHONE/03-237-9577

LOOK ASIA WEEKEND

制作協力

桐谷　夏子	如　　鬼
はなさき　しょう	伊藤あさひ
林　亞慕利	向井　徹
近藤　賢	門川　淑子
重政栄一郎	鎌田　幸子
市橋　秀夫	西本　郁子
小島　希里	白石　孝
堀川　禎一	NUE(&FRIENDS)
印やく智哉	劇団黒色テント
館野　祥子	パンクスインターナショナル
茂住　衛	ジャパンサウンドプロジェクト
小長谷奈美	サワディーミュージック
角倉　邦良	高田さん
大久保青志	森川さん　他たくさんの方々